

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本大会は、2026年日本陸上競技連盟規則および競技会における広告及び展示物規程ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。なお、競技用靴については、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。

※ 競技規則 TR5.2 及び競技用靴に関する規程を参照すること。

## 2. 競技方法について

(1) 男女別学校対校とする。

(2) 男女別の学校得点によって順位を決定する。種目得点は、1位8点…8位1点とする。

なお、混成競技についての得点は総合成績のみに入れる。

## 3. 練習について

(1) 練習は、雨天練習場または公園内で行うこと。なお、雨天練習場を使用する際は、走る方向を一方通行とし、危険防止に努めること。雨天練習場での投てき練習は禁止とする。

また、競技場バックストレートを下記の時間帯のみ練習に開放する。

5月30日：9:00～10:45

利用する際は、バックスタンド前の跳躍競技やフィールド内の投てき競技の動向に十分注意すること。

(2) 公園内でのメディシンボール等の使用は禁止とする。

(3) フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示に従って行うものとする。

※本競技場での練習は、3日間とも7:45～9:00の時間帯で行うことができる。

## 4. 招集について

(1) 招集所は、第4コーナー外側に設ける。

(2) 各種目の招集開始・完了時刻は、競技日程欄に記載されている。

(3) 招集所内に携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット等の電子通信機器を持ち込まないこと。持ち込み、使用が確認された場合はYC（イエローカード）の対象となる。

(4) 招集の手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰アスリートビブスを受け取り指示された場所につけること。同時にアスリートビブス・スパイク等の確認を受ける。

② 1500m, 3000m, 5000m, 3000mSC, 5000mWについては、配布される腰ナンバー2枚のうち、1枚を右腰に、もう一枚を胸につけること。

③ 点呼の代理は認めない。招集完了時刻に遅れた者は、欠場したものとして処理する。

④ 2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人がプログラム添付の「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、第1種目の点呼時に競技者係に提出すること。その場合に限り、代理人の点呼を認める。

(5) リレー種目について

① リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙はプログラム添付の用紙を使用すること。

② 点呼は、4人全員で受けること。（他種目に出場し、届出完了の場合は他のメンバーのみで可）

(6) 混成競技について

招集は、第1種目（男子100m 女子100mH）は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目からは現地招集とする。（競技開始の15分前に集合すること。）

(7) 事前に欠場の種目がある場合は招集開始時刻までにプログラム添付の「欠場届」に必要事項を記入し競技者係に提出すること。

(8) 招集所から競技場所へ行く際は、競技者係の指示に従うこと。

## 5. 競技進行について

(1) 番組編成及び競技の抽選について

① トラック種目の予選におけるレーン、跳躍・投てき種目の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。準決勝以降の組み合わせは、すべて番組編成員が行い、招集所付近の番組編成表示板及びアスリートランキングで発表する。

② トラック競技における次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣を判定し、下記の方法によって進出者を決定する。

・レーンに余裕がある場合 同タイム者(1/1000単位)の進出を認める。

・レーンに余裕がない場合 本人または代理人により抽選する

・オープンレーンを使用する種目は同タイムの競技者全員(1/1000単位)の進出を認める。

(2) 競技全般について

① 競技役員・補助員及び当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることができない。また、競技者の本部前の通行を厳禁する。

② 競技場内に携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット等の電子通信機器を持ち込まないこと。

③ 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

- ④スパイクピンは11本以内とし、9mmを超えてはならない。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- ⑤アスリートビブスはユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ⑥リレーについて、オーダー提出後不慮のケガによりリレー出場が困難な場合、医師の判断によって走者を変更することができる。その場合には走順を代えることができない。オーダー提出締切時刻前であっても、一旦提出したオーダーを変更することはできない。
- ⑦4×100mのマーカ―は、各チームで準備すること。競技終了後、必ず自チームのマーカ―を前走者が取り除くこと。

(3)跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳のバーのあげ方は下記のとおりとするが、状況に応じて変更する場合があるので審判員の指示をよく聞くこと。

男子走高跳	160(練)	165	170	175	180	185	188	191	194	以降	3cmずつ
女子走高跳	130(練)	135	140	145	150	153	156	159	162	以降	3cmずつ
男子棒高跳	250(練)	260	280	300	320	340	360	380	400	以降	10cmずつ
女子棒高跳	210(練)	220	230	240	250	260	270	280	290	以降	10cmずつ
(混)男子走高跳	127(練)	130	133	136	―	以降	3cmずつ				
(混)女子走高跳	117(練)	120	123	126	―	以降	3cmずつ				

\*同記録による1位決定と近畿大会出場権決定は決定戦を実施する。そのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

- ②男子走幅跳の予選通過記録は、6m00とする。
- ③男子三段跳の踏み切りは12m、女子三段跳の踏切板は10mとする。
- ④男女走幅跳・男子八種競技の走幅跳、男女三段跳は、バックストレート側B・Cピットで行うが、女子七種走幅跳は、ホームストレート側Aピットで行う。

(4)投てき競技について

記録の計測については、下記計測ラインを設定し、計測ラインを超えないものはペグ等を用い、最高記録のみ計測する。(計測ラインを超えた有効試技はすべて計測する。)

男子砲丸投	9m50	男子円盤投	27m00	男子ハンマー投	30m00	男子やり投	38m00
女子砲丸投	7m00	女子円盤投	20m00	女子ハンマー投	20m00	女子やり投	20m00

6. 競技用具について

- (1)棒高跳のポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (2)やりの検定は、競技開始の80分前より60分前までに、第2ゲート横用器具庫で行う。

7. 表彰について

- (1)各種目3位までの入賞者は表彰を行うので、競技終了後速やかに集合すること。  
なお、各種目6位までの入賞者も成績発表後、正面玄関エントランスまで賞状を取りに来ること。
- (2)表彰式では以下の表彰を行う。入賞校のみ所定の場所に集合する。
  - ・男女別優勝校には県高体連陸上競技専門部より、優勝カップを授与する。
  - ・男女別総合・トラック競技・フィールド競技各3位までの入賞校に賞状を授与する。
  - ・男女優秀選手各1名に最優秀盾を授与する。

8. 近畿地区予選会の出場について

各種目6位まで(ただし、混成競技と・女子三段跳・女子ハンマー投は4位まで、男子走高跳と棒高跳は6位・6名まで、女子棒高跳は4位・4名まで、男女競歩競技は5位まで)に入賞した選手は、近畿地区予選会(滋賀・平和堂 HATO スタジアム)の出場権を得る。今季自己最高記録を県外大会・記録会に出した者及びリレー種目の登録メンバーについては、本大会終了までに顧問が本部情報処理室まで申し出ること。さらにやむを得ず欠場するものについても同様とする。

9. その他

- (1)競技場の開門は3日間とも7時45分とする。
- (2)記録は、大型映像での発表とアスリートランキングで発表する。
- (3)場所取り、テントの設営、横断幕・のぼり旗等の設置について
  - 場所取り等については、5月29日(金)7:45以降とし、それ以前に場所取りは厳禁とする。
  - メインスタンド
    - ・メインスタンドへのテント設営や横断幕・のぼり旗の設置を厳禁する。
    - ・サイドスタンド(メインスタンドの両サイド)へ横断幕・のぼり旗を設置してよい。ただし、中段の上下、最上段のフェンスへの設置とし、特に横断幕は通路を塞ぐことのないよう注意する。また、テント設営は厳禁する。
  - サイド芝生席
    - ・横断幕は手前フェンス及び後方フェンスへ設置してもよいが、のぼり旗は後方のフェンスのみとする。また、テントは設営してもよい。

○バックスタンド（芝生席を含む）

- ・芝生席へのテント設営を厳禁する。ただし、第2ゲート横、第3ゲート横の芝生スペースはその限りでない。
- ・バックスタンド両サイド寄りにある器具庫上通路のフェンスには、横断幕を設置してもよい。ただし、のぼり旗は禁止する。また、最上段のフェンスに横断幕を設置する場合は通路を塞がないよう十分注意すること。
- ・のぼり旗については、バックスタンド最上段フェンスのみ設置してもよい。

○テント等の設営については、風で飛ばされることのないよう各校で留意すること。

(4) 応援はスタンドで行うこと。

(5) 競技中における事故・負傷については応急措置のみを行う。

(6) 各チーム(学校)の控え場所及びスタンドの清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に  
行い、各学校で出たごみは、確実に持ち帰ること。

また、次の割り当てにて競技終了後の清掃を行う。

- ・5/29(金)有田以南の各校
- ・5/30(土)紀北地区の各校
- ・5/31(日)和歌山市・海南地区の各校

(7) 貴重品・荷物類は各自で管理し、盗難等十分に注意すること。

(8) 通行禁止・使用禁止の掲示のある場合は、遵守すること。

(9) 以下の場合、競技を中断または中止することがある。

① 非常天災、気象警報、落雷の危険がある場合

② Jアラートが発令された場合

③ WBGT 指数が 31 を超えた場合

(10) 個人情報の取り扱いに関して

① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。

② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・  
記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。

入賞者は報道機関の取材を受けることがある。

③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表される  
ことがある。